

～想いをカタチにする、 DAYS BLG ! から～

(抄録)

DAYS BLG ! (以下、BLG !) では、以下のような考えを持っていることを紹介したい。

- ① 働く・・・労働として捉え、対価としての謝礼や報酬を得る。
- ② はたらく・・・日常の家事や地域交流など。
- ③ ハタラク・・・ボランティア活動やオタガイサマの行動など。

これらの言葉は何かの場面で使い分けている訳ではないが、様々なバリエーションがあることで、本人(以下、メンバー)の想いをカタチにすることにつながる。つまり、ミクロで考えるのではなく、もっとマクロな視点に立って考えることが大切なのである。

そして、BLG ! の原点とは、BLG ! メンバーに聴く、BLG ! メンバーと一緒に考える、そして想いの実現のために一緒に活動していく、こんなところを原点としている。だからこそデイサービスに来ることが目標ではなく、BLG ! に来て「躓いている部分」があれば、その部分のみのサポートを受けながら想いの実現を果たす、これが目標となる。つまりはBLG ! は手段であり道具なのだ。当たり前のことを当たり前に、認知症をジブンゴトとして捉える次世代型のデイサービスであり、当たり前のデイサービスなのだ。「働きたい」「役に立ちたい」「介護されるだけの存在から再び社会の一員として⇒利用者から生活者へ」等という想いをカタチにしている。以上を踏まえた上で次の具体的な活動に取り組んでいる。

- ① 働く・・・HONDA ディーラー洗車活動、野菜の下処理、商品企画再開発、チラシポスティング、商品袋詰め、その他
- ② はたらく・・・学童保育クラブでの認知症をテーマとした紙芝居『やさしさはおくすり』の読み聞かせ、みちピカ町田¹⁾、駄菓子屋の経営と店主、その他
- ③ ハタラク・・・荷物持ち、台所片付け、室内及び敷地内清掃、場を盛り上げる等々、誰かの役に立つ、行動が自身の存在を再確認できる要素になっているもの、その他

よく目にする「認知症になっても安心して暮らせるまち」とは？そもそも安心とは？まちづくりとは？誰のための介護保険サービスなのか？を考えながら、そして誰が住んでいるまちなのか、メンバーさんの想いと活動を通じて、大切なメッセージを多くの人へ投げ掛けたい。

前田 隆行 (まえだ たかゆき)

NPO 町田市つながりの開 理事長

特定非営利活動法人若年認知症サポートセンター理事

特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ・アドバイザーボード

主な著書『隔月刊誌達人ケアマネ』2013年4月30日号 第7巻第4号(日総研出版)、『おはよう 21』2014年11月号～2015年11月号(中央法規出版)、『地域リハビリテーション』2015年9月15日号 第10巻第9号(株式会社三輪書店)、『デイの経営と運営』2015年11月15日号 Vol.27(株式会社QOLサービス)、『認知症ケア最前線』2015年12月5日号 Vol.54(株式会社QOLサービス)。その他、NHKを始めテレビやラジオ出演、新聞、雑誌、専門誌などに多数掲載。

¹⁾町田市：道路をより良くする運動“みちピカ町田”。

http://www.city.machida.tokyo.jp/smph/kurashi/sumai/road/kyoudou/michi_pika_machida.html
(2016年7月20日アクセス)